

### ■韓国：太陽光併設の電力貯蔵設備が相次いで火災

大手経済紙は2018年10月1日、同年5月以降、太陽光発電所に併設した電力貯蔵設備(ESS)が相次いで火災を起こしていると報じた。9月だけを見ても3件の火災が発生している。ESSのリチウムイオン電池は熱を発生するため、空調システムの整備が必要であるが、上記3件の事例では、空調システムの故障、あるいは電池自体の欠陥が火災の原因になっている。こうした事態を受け、産業通商資源部(MOTIE)は、全国のESS(約1,000カ所)の安全確認調査を進めるとともに、11月末までにESSの技術基準を作成することになっている。